

平成 31 年度

事業計画



社会福祉法人 有田市社会福祉協議会

# I 基本方針

地域社会を取り巻く状況は少子高齢化の進行に伴う、独居・認知症高齢者の増加や社会的孤立など個人としての生活課題にとどまらず、その家族にも新たな課題が生まれるなど複合化・多様化する課題が山積しています。

また、平成30年4月に改正・施行された社会福祉法第106条の3では、地域住民が地域づくりの取組を主体的に行うための働きかけや、住民自身が地域生活課題に対して自ら解決のため行動すること、支援関係機関が分野を問わず包括的に受け止める場の整備がうたわれています。同時に、相談支援機関が協働して課題解決に取り組むネットワーク体制の整備もうたわれています。これらは地域共生社会の実現のために必要であることですが、地域福祉を推進する中で住民主体の理念は何十年も変わらず必要だと考えられている原点でもあります。

この考え方をもとに、本会は、平成29年3月に策定しました『第2次地域福祉活動計画』（以下、『第2次計画』という）に掲げた「住民主体」・「地域共生社会」・「パートナーシップ(協働)」・「地域福祉を推進するための福祉教育」の4つの視点を常に意識し、実践してまいります。

こうしたなか、昨年度本格始動した「生活支援体制整備事業」の中で、第2層生活支援コーディネーターの活動として、啓発活動に加えて第3層生活支援コーディネーターを担う立場の方々の養成を行い、試験的に新たな助け合い活動を創出することもできました。今後は、こうしたモデル事例を市内全体で共有し、助け合いの輪が広がるような展開を図ります。また、箕島高等学校情報経営科3年生の課題研究授業に参画し、次代を担う高校生が地域と向き合い、政策提言を考えるとというゴールまで結びつきました。重点目標である「福祉教育の充実」のひとつとして、今年度はその提言を具現化できるよう、箕島高校との協働を推進します。

重点目標の「地域がつながる取組の推進」として、居場所づくりプロジェクトから誕生した「AGALA」は、和歌山県社会福祉協議会のモデル事業指定を受けましたが、住民主体の活動の創出が課題となっています。今後は、福祉教育を基盤とした住民主体の地域福祉活動の創出を目指していきます。そのため、今年度は事業名を「AGALAを拠点とした住民主体の地域福祉活動創出プロジェクト」と改め実践します。このモデル事業では、社会福祉協議会が組織として取り組むことに意義があり、介護保険事業の職員であっても地域福祉に対する視座をもち、

個別支援から地域課題を捉えられるようにニーズキャッチ機能の強化を図ります。このことが重点目標に掲げる「相談支援事業の充実・発展」にもつながると考えています。

社会福祉協議会は個別の支援をはじめ、学校とのつながりや専門職との協働など活動は多岐に渡りますが、これら全てが住民ひとり一人の地域生活につながるという視点を持ち、住民、行政、関係団体と協働していきます。

## II 重点目標

### 1 福祉教育の充実

地域住民が地域福祉を担っていくためには、住民自身が地域の様々な課題に気づき、その解決に向けて自ら取り組んでいく手法を学ぶ、気づきと学びのプロセスが必要です。そのことを通して、福祉課題に主体的に取り組む意識が醸成され、結果、地域の福祉力が培われます。つまり、「福祉教育の充実」が地域福祉の推進には不可欠です。子どもたちに対する福祉教育と共に、地域住民や専門職に対する福祉教育を実践していきます。

### 2 地域がつながる取組の推進

誰もが自分らしく暮らせる福祉のまちづくりを進めるには、昔ながらの隣近所の助け合いに加えて、地域の中に自分の居場所があり、自分の地域に関心をもてるように、まずはさまざまな人が交流し、つながりをつくる「出会いの場」を地域の中に広げていくことが重要です。

そんな“人と人を結び”、“心と心を結び”、“人と地域を結ぶ”取組を推進していきます。

### 3 相談支援事業の充実・発展

ふだんのつながりがあることで、住民同士も専門職も気軽に相談することができます。まずは、改めて社会福祉協議会で勤務する職員が「地域福祉」の考え方に立ち、サービス提供、関係構築、資源開発を行っていきます。また、今あるネットワークの拡充と、専門職も事例を通して地域福祉について学ぶ姿勢を身につけ、スキルアップにつなげてまいります。

### Ⅲ 重点事業

#### 重点事業1 子どもたちがつなぐ未来への希望 福祉の種まきプロジェクト

平成25年度から取り組みを始めた福祉の種まきプロジェクトは、実践方法の検討を重ねています。昨年度も子どもたちが地域と関わることで、地域で暮らす人の生き方を学び、役割を知ることができるようなプログラムを行ってきました。今年度も学校を拠点とした福祉教育の実践に地域の多様な方の参画を得る形を継続していきます。有田市で育つ子どもたちが、有田市のよさ・価値に気づき、ふるさとへの愛着を形成し、誇りあるまちとなるよう、地域・学校・家庭と協力して実践していきます。

#### 重点事業2 生活支援体制整備事業

有田市から第2層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体と共に、有田市に足りない資源を協議し、しくみづくりを行っていきます。第3層の生活支援コーディネーターとなる人材の育成も行っています。

また、本事業は社会福祉協議会の本来業務という認識をもち、分野・世代を超えた協働を視野に入れて活動します。

#### 重点事業3 AGALAを拠点とした住民主体の活動創出プロジェクト

多世代共生の居場所「AGALA」の活用について、和歌山県社会福祉協議会のモデル指定を受け、住民主体の活動創出を目指します。

#### 重点事業4 支援ネットワークの強化事業

一人暮らしを中心とする方の終末期を考えるプロジェクトを継続しつつ、昨年度経験した台風21号による災害時支援の課題について協議していきます。地域福祉ネットワーク会議を軸に、さまざまな団体とも課題共有を図り、災害時の支援体制や普段の備えなど、専門職の協働によりできることを検討してまいります。

また、本会の地域福祉事業、介護保険事業のどちらの部門の職員に

あっても、「地域福祉推進のための福祉教育」の視点をもちニーズキャッチする機能の強化を図ります。このニーズキャッチから出されたことを基に、地域福祉という観点で他の事業所専門職が学ぶ機会をつくれます。

# IV 事業実施計画

## 1 法人運営事業

- (1) 理事会・評議員会
- (2) 財政
- (3) 会議・研修・諸行事
- (4) 福祉団体育成支援事業
- (5) 広報活動事業

## 2 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉活動計画の推進
- (2) 支援ネットワークの強化
- (3) 日常生活用具貸与事業
- (4) ボランティア活動の充実
- (5) 生活支援体制整備事業
- (6) AGALA を拠点とした住民主体の地域福祉活動創出プロジェクト
- (7) 子どもたちがつなぐ未来への希望 福祉の種まきプロジェクト
- (8) 災害時対応事業
- (9) 家族介護教室事業
- (10) 認知症等高齢者見守り事業
- (11) 共同募金事業への協力

## 3 相談・支援事業

- (1) 福祉サービス利用援助事業
- (2) 法人後見事業
- (3) 生活福祉資金貸付事業
- (4) 心配ごと相談所事業

## 4 在宅福祉サービス事業

- (1) サービスアンケートの実施
- (2) 介護保険事業
- (3) 日中一時支援事業